

評価規準（令和 2 年度）【国語】 3 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことばに親しもう 「じこしょうかいビンゴゲーム」をしよう	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア）	【態度】進んで日常生活の中から話題を決め、学習の見通しをもって情報を集め、自身のことを紹介し合おうとしている。
かえるのびよん	◎【知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ）	【態度】進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って工夫して音読しようとしている。
一 ばめんのつながりに気をつけて読もう 白い花びら	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ） ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ）	【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを友達と紹介し合おうとしている。
「発見ノート」を作ろう	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】積極的に伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって「発見ノート」を作ろうとしている。
国語辞典の引き方	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）		【態度】積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を活用しようとしている。
二 すじみちを立てて発表しよう たからものをしょうかいしよう	◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ） ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ）	【態度】粘り強く話の構成を考え、今までの学習を生かして自分の宝物を紹介しようとしている。

聞いてさがそう	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ）	【態度】進んで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見通しをもって情報を集めようとしている。
漢字の広場 ① 漢字学習ノート	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。
漢字の広場 ① 二年生で学んだ漢字 ①	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
三 だんらくの要点をつかもう うめぼしのはたらき (2)	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ） ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	◎【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cア） ◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ）	【態度】粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付け、学習課題に沿って要点をまとめようとしている。
めだか	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） ◎【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cア） ◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ）	【態度】粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約し、学習課題に沿って分かったことや大きなことをまとめようとしている。
俳句に親しむ	◎【知技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（〔知識及び技能〕(3)ア）	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】進んで易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって言葉の響きやリズムに親しもうとしている。
四 しりょうを集めて活用しよう 本で調べよう	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ）	【態度】積極的に、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約し、学習課題に沿って分かったことを説明しようとしている。

クラスの「生き物ブック」を作ろう	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） ◎【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）	【態度】粘り強く文章の構成を考え、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。
漢字の広場 ② 漢字の音と訓	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字の「音」と「訓」について知り、正しく使おうとしている。
漢字の広場 ② 二年生で学んだ漢字 ②	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
五 登場人物のせいかくを考えながら読もう のらねこ	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】進んで登場人物の性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語の感想を書こうとしている。
きせつの言葉を集めよう	◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。（〔知識及び技能〕(3)イ）	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】積極的に、長い間使われてきた季節を表す言葉の意味を知り、学習課題に沿って季節の言葉を集めようとしている。

よく見て、話し合おう	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ）	【態度】進んで目的や進め方を確認し、学習の見通しをもってグループで話し合おうとしている。
六 つたえたいことをはっきりさせて書こう 取材して知らせよう インタビューをしよう	◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（〔知識及び技能〕(1)キ） ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ） ◎【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） ◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】粘り強く、書く内容の中心を明確にして文章の構成を考え、学習の見通しをもって報告文を書こうとしている。
手紙を書いてつたえよう	◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（〔知識及び技能〕(1)キ）	◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ）	【態度】粘り強く相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、学習の見通しをもって目的に合わせた手紙を書こうとしている。
漢字の広場 ③ 送りがな	◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		【態度】進んで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字を正しく使おうとしている。
漢字の広場 ③ 二年生で学んだ漢字 ③	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
七 場面のうつりかわりに気をつけて読もう わすれられないおくりもの	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、登場人物の言葉を考えようとしている。

ローマ字	◎【知技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		【態度】進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもって、ローマ字に親しもうとしている。
ローマ字とコンピューター	◎【知技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		【態度】進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもってコンピューターにローマ字で入力しようとしている。
ー 絵文字の特長をとらえよう 世界の人につたわるように	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア）	【態度】進んで集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもって、グループで話し合おうとしている。
くらしと絵文字	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ） ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） ◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）	【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、身のまわりの絵文字について説明する文章を書こうとしている。
絵文字で表そう	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ）	【態度】積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってグループで話し合おうとしている。
気持ちをつたえる話し方・聞き方	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ）	【態度】進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし、見通しをもって、気持ちを伝えるための話し方・聞き方について考えようとしている。
漢字の広場 ④ へんとつくり	◎【知技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）		【態度】進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。

漢字の広場 ④ 二年生で学んだ漢字 ④	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
二 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう モチモチの木	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ） ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ）	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって物語のおもしろいところを紹介しようとしている。
「おすすめ図書カード」を作ろう	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ） ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ）	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習の見通しをもって、「おすすめ図書カード」で本を紹介し合おうとしている。
こそあど言葉	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）		【態度】進んで指示する語句の役割を理解し、学習課題に沿って、指示する語句を適切に使おうとしている。
はっとしたことを詩に書こう	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア） ◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。
ことわざ・慣用句	◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。（〔知識及び技能〕(3)イ）	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に、長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。

詩を楽しもう 夕日がせなかをおしてくる いちばんぼし	◎【知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）	【態度】進んで、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
三 調べて発表しよう 町の行事について発表しよう	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ） ◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ）	【態度】進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、学習の見通しをもって、資料を使って発表しようとしている。
文の組み立て	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）		【態度】進んで主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、文の組み立てを捉えようとしている。
漢字の広場 ⑤ 漢字の組み立て	◎【知技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）		【態度】進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。
漢字の広場 ⑤ 二年生で学んだ漢字 ⑤	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
四 図や写真と文章を、むすびつけて読もう 川をさかのぼる知恵	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ） ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって友達と感想を交流しようとしている。
十二支と月のよび名	◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。（〔知識及び技能〕(3)イ）		【態度】積極的に、長い間使われてきた十二支や月の呼び名を知り、学習の見通しをもって、今の暮らしの中に残る昔からの言い方を見つけようとしている。

五 つたえたいことの中心を明らかにして書こう 強く心にのこっていることを	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ） ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ） ◎【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）	【態度】粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして文や文章を整え、学習の見通しをもって、思い出に残っているできごとについて文章を書く。
漢字の広場 ⑥ 二つの漢字の組み合わせ	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字二字の言葉の構成について考えようとしている。
漢字の広場 ⑥ 二年生で学んだ漢字 ⑥	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
六 登場人物の気持ちのうつりかわりを読もう おにたのぼうし	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
国語の学習 これまで これから	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などに注意して話している。（〔知識及び技能〕(1)イ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア） ◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に伝え合うために必要な事柄を選び、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。

評価規準（令和2年度）【書写】3 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
毛筆の学習が始まるよ 学習の進め方 目次 1 はじめの学習	【知技】 毛筆で学習する意味や学習の進め方について理解している。 用具の扱い方、姿勢、筆の持ち方を理解している。 用具の扱い方、姿勢、筆の持ち方が身についている。	【思判表】 毛筆で学習する意味や学習の進め方の流れについて考えている。 用具の扱い方、姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方について考えている。	【態】 毛筆書写に関心を持ち、取り組もうとしている。 用具を丁寧に取り扱い扱っている。 よい姿勢や筆の持ち方を身につけようとしている。 ほかの書写場面でも、よい姿勢やよい持ち方で書こうとする意識をもっている。
1 毛筆用具の名前と、おき方やあつかい方 2 よいしせいと筆の持ち方 3 筆の「ほ」のやわらかさ 4 力の入れ方（筆圧） 5 あとかたづけ	【知技】 穂の柔らかさと筆圧について知っている。 筆圧に気をつけて、いろいろな太さの線を書いている。	【思判表】 筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。	【態】 筆の穂の柔らかさや筆圧を意識して、いろいろな線を書く活動に取り組もうとしている。 ほかの書写場面でも、筆の穂の柔らかさや筆圧を意識して書こうとする意識をもっている。
2 「横画」の筆使い 『二』	【知技】 「横画」の筆使いについて理解している。 「横画」の筆使いに気をつけて書いている。	【思判表】 「横画」の筆使いについて考えている。	【態】 「横画」の筆使いに気をつけて、正しく書こうとしている。 ほかの文字や硬筆でも「横画」に気をつけて書こうとする意識をもっている。
3 「たて画」の筆使い 『土』	【知技】 「たて画」の筆使いについて理解している。 「たて画」の筆使いに気をつけて書いている。	【思判表】 「たて画」の筆使いについて考えている。	【態】 「たて画」の筆使いに気をつけて、正しく書こうとしている。 ほかの文字や硬筆でも、「たて画」に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【知りたい 文字の世界】 筆について知ろう			【態】 筆および筆で書くことに関心をもっている。 ふだんの授業においても、筆を大切に扱う意識をもっている。
4 「はらい」の筆使い 『大』	【知技】 左右の「はらい」の筆使いの違いについて理解している。 左右の「はらい」の筆使いに気をつけて書いている。	【思判表】 左右の「はらい」の筆使いについて考えている。	【態】 左右の「はらい」の筆使いに気をつけて、正しく書こうとしている。

＜こう筆の学習＞ 「はらい」	【知技】左右の「はらい」の違いについて理解している。 左右の「はらい」の方向の違いに気をつけて書いている。	【思判表】左右の「はらい」の方向の違いについて考えている。	【態】左右の「はらい」の方向に気をつけて、正しく書こうとしている。 「はらい」を含む漢字や語句を書いている。
【レッツ・トライ】 はがき 一暑中みまい	【知技】文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。 はがきの形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。	【思判表】はがきの形式に従って丁寧に書く方法について考えている。	【態】はがきの形式を理解し、丁寧に書こうとしている。
【レッツ・トライ】 ①原こう用紙 一セーフティ教室の作文 ②カード 一てらん会作品のカード	【知技】原稿用紙の書き方と、展覧会作品のカードの書き方について理解している。 文字の大きさと、ます目の中の書く位置に気をつけて書いている。	【思判表】原稿用紙の書き方と、展覧会作品のカードの書き方について考えている。	【態】原稿用紙の書き方に気をつけて書こうとしている。 展覧会作品のカードの書き方に関心をもっている。 他教科の学習においても、原稿用紙の書き方や文字の大きさに気をつけて書こうとする意識をもっている。
5 「おれ」と「はね」の筆使い 『力』	【知技】「おれ」と「はね」の筆使いを理解している。 「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書いている。	【思判表】「おれ」と「はね」の筆使いについて考えている。	【態】「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書こうとしている。 ほかの文字や硬筆でも、「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書こうとする意識をもっている。
＜こう筆の学習＞ 「おれ」と「はね」	【知技】「おれ」と「はね」の筆使いについて理解している。 「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書いている。	【思判表】「おれ」と「はね」の方向について考えている。	【態】「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。
6 ひらがなの筆使い 『つり』	【知技】平仮名の筆使いについて理解している。 平仮名の筆使いに気をつけて書いている。	【思判表】平仮名の筆使いについて考えている。	【態】平仮名の筆使いに関心をもっている。 ほかの文字や硬筆でも、平仮名の書き方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。
＜こう筆の学習＞ 筆順と字形	【知技】筆順の原則を理解している。 筆順の原則に従って、正しく書いている。	【思判表】筆順の原則について、ほかの文字にもあてはめて考えている。	【態】筆順の原則に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも、筆順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レッツ・トライ】 ①文化 一俳句	【知技】漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方について理解している。 漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書いている。	【思判表】漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方について考えている。	【態】漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方に気をつけて書こうとしている。 書写の授業以外でも、漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。

【レッツ・トライ】 ②手紙 —お店見学のお礼じょう	【知技】文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。 手紙の形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。	【思判表】手紙の形式に従って丁寧に書く方法について考えている。	【態】手紙の形式を理解し、丁寧に書こうとしている。
7 「曲がり」と「おれ」の筆使い 『ビル』	【知技】「曲がり」と「おれ」の筆使いについて理解している。 「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて書いている。	【思判表】「曲がり」と「おれ」の筆使いについて考えている。	【態】「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて書こうとしている。 ほかの文字や硬筆でも、「曲がり」と「おれ」の書き方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。
＜こう筆の学習＞ 「曲がり」と「おれ」	【知技】「曲がり」と「おれ」の違いについて理解している。 「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて書いている。	【思判表】「曲がり」と「おれ」の違いについて考えている。	【態】「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも「曲がり」と「おれ」に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。
＜こう筆の学習＞ 文字の組み立て方	【知技】左右の幅の違い、上下の高さの違い、中と外の組み立て方について理解している。 左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて書いている。	【思判表】左右の幅、上下の高さ、中と外の組み立て方について考えている。	【態】いろいろな文字の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。
書きぞめ 『正月』 小筆で書こう 書ぞめ 『友だち』	【知技】書きぞめの姿勢や筆の持ち方、筆使いについて理解している。 これまで学習した筆使いや文字の中心に気をつけて書いている。	【思判表】書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。	【態】書きぞめに関心を持ち、書こうとしている。 ほかの学習場面でも、よい姿勢や持ち方で、字形を整えて書こうとする意識をもっている。
点画のしゅるい	【知技】これまでに学習した「点画の種類」について理解している。		【態】3年生で学習した基本点画について確かめている。 ほかの文字でも、基本点画に気をつけて書こうとする意識をもっている。
8 学習のまとめ 『光』	【知技】これまで学習した筆使いや字形について理解している。 これまで学習したことを生かして、筆使いや字形に気をつけて書いている。	【思判表】これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。	【態】これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで書こうとしている。 硬筆の学習でも、字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【知りたい 文字の世界】 「手書き文字」と「活字」	【知技】手書き文字と活字の特徴がわかる。	【思判表】手書き文字と活字の違いについて話し合い、考えている。	【態】手書き文字と活字の違いに気づき、文字に関する関心を高めている。 手書き文字と活字の特徴について、意欲的に調べようという意識をもっている。
ローマ字表	【知技】ローマ字の字形について理解している。		【態】ローマ字の字形を確かめている。 常にローマ字の字形を確かめようとする意識をもっている。

【書いて つたえ合おう】 メモを取ってまとめよう	【知技】メモの書き方を理解している。 大事なことを聞きのがさないようにメモを取っている。 読みやすく書くための方法について理解している。 メモをもとに伝えたいことをまとめている。	【思判表】大事なことをおさえてメモを取る工夫について考えている。 読みやすく書くための方法を意識して、まとめたものを見直している。	【態】書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。
【漢字表】 三年生で学習する漢字 二年生で学習した漢字	【知技】同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方をもつ漢字など，漢字の仲間分けについて理解している。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方をもつ漢字など，漢字の仲間分けをしている。	【思判表】これまで学習した字形の整え方，筆順について考えている。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方をもつ漢字など，漢字の仲間分けについて考えている。	【態】巻末漢字表を使った漢字の仲間分けの活動や，漢字の成り立ちについて，関心を高めている。 ほかの学習場面でも，筆順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【ひらがな表】 【かたかな表】 【やってみよう】	【知技】平仮名，片仮名の筆順や字形について理解している。		【態】平仮名，片仮名の筆順や字形を確かめている。 常に平仮名，片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。